

あまみ 市議会だより

No.70

2023.9



▲ 7月5日 かごしま国体 100 日前 PR イベント

奄美・沖縄 世界自然遺産



第2回定例会

令和5年6月19日～7月10日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号
TEL : (0997) 52-1111
FAX : (0997) 52-2815
Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・P 2 ～ 5

第2回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・P 6

第2回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・P 7 ～ 8

令和4年度政務活動費報告・・・・・・・・・・・・・P 9

所管事務調査報告／お知らせ・・・・・・・・・・・・・P 10 ～ P 11

あとがき・・・・・・・・・・・・・P 12

第2回定例会 一般質問

市政を問う

6月20日、21日、22日の3日間で11名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

奄美市 議会録画配信



1日目

- 1 竹山 耕平
- 2 弓削 洋平
- 3 関 誠之
- 4 正野 卓矢

2日目

- 1 橋口 耕太郎
- 2 幸多 拓磨
- 3 永田 清裕
- 4 奥 輝人

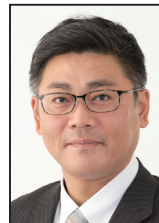
3日目

- 1 崎田 信正
- 2 林山 克巳
- 3 栄 ヤスエ

動画配信は
こちら⇒



奄美市に防災専門監の 配置を求める！



竹山 耕平
自民党新政会
(総務企画委員会)

問 奄美市防災計画及び国民保護計画に基づく訓練状況について

答 昨年度は防災出前講座など地域主体の図上訓練を実施。1月に地震・津波を想定した高台等への避難訓練を実施した。国民保護計画に基づく訓練は未実施。

問 それぞれの計画に専門的に精通し地域の実情に沿った実効性を求めるため防災専門監（地域防災マネージャー）配置を求める

答 防災に関する人材育成や専門的知見が重要であると認識する。近年全国各地での自然災害が大規模化する状況もあり、今後島内他町村の状況把握や連携を図り検討課題とした。

問 各学校における更衣室の確保及びプールの目隠し等への対応（昨年質問

したその後の対応）

答 昨年度は市内全小中学校で更衣室設置状況の実態調査を実施。空き教室の活用・特別教室を間仕切り・カーテン等で仕切るなど工夫している。性の多様性への配慮の側面から大切と認識する。今後も学校と連携を図り、引き続き環境改善に努める。プールへの目隠しも昨年度中学校から2件要望があり、プライバシーへの配慮と風通しなど快適な活動も考慮し対応した。今後も実態把握を行い安全な学校施設の運用に努める。

問 フッ化物洗口の取り組みについて

答 現在小学校11校、中学校5校の計16校が取り組んでいる。子どもたちの健康の土台となる歯の健康を守るためにもフッ化物洗口を今後も力を入れて推進していく。

【その他の質問事項】

◎末広・港土地区画整理事業
◎PPP・PFI事業

空き家等の利活用について



弓削 洋平
チャレンジ奄美
(総務企画委員会)

問 相続登記の義務化について

答 令和6年4月1日施行予定の「相続登記の申請の義務化」については、相続・遺言によって不動産を取得した相続人がそのことを知った日から3年以内に相続登記の申請を行うことを義務化するものであり、正当な理由がなく義務に違反した場合、10万円以下の過料が課せられることがある。また、簡易に相続登記の申請義務を履行することができる相続人申告登記の制度も同日に施行予定である。

この新制度は相続人の氏名・住所等を申請すれば、持分を申請せずとも相続登記の申請義務のみを履行したとみなすものである。これらの新制度は、所有者不明土地・家屋の発生を予防することにも

空き地所有者の特定が促進され、空き地対策が推進されるものと期待している。

今後は、弁護士、建築士等の専門家や宅建協会等の外部機関及び消防、警察、地域等で構成される奄美市空き家等対策協議会との連携をさらに強化し、地域と行政が一体となった空き地対策や、人員も含めた体制づくりを行うなど、スピード感を持った対応により地域の空き家問題解決に向けて取り組む。

問 部活動の地域移行に係るクラブチーム等への大会出場補助金のバラツキについて

答 各自治体で補助金に違いが生じているのは認識している。部活動の地域移行に係る諸課題について奄美群島12市町村で連携を深め検討してまいりたい。また詳細な制度設計の際には奄美群島振興交付金に限定せず、活用可能な補助制度について幅広い視野での研究が必要であると考えている。

マリンタウン土地売買の 現況と問題点



関 誠之
立憲民主党
(文教厚生委員会)

問 優先的マリンタウン土地売買の現況と問題点

答 令和3年2月の2次公募契約候補者（契約予定額5億784万2440円を1年以上契約猶予し、契約完了日を令和4年度内と優遇した）から令和5年3月10日付けで契約辞退の届け出（3月14日受理）、3月15日付け内定取り消しを行った。

問 土地処分検討委員会に
もかけず1日で辞退を受理したことの問題点

答 土地処分検討委員会の民間委員の方々の意見等も伺い判断した。

問 契約辞退は予測できたことではないか

答 相手から示される進捗状況を確認し、契約に向けて進めているとの申し出を受けて、契約の実現を期待し協議を進めてきた。

問 契約不成立による当局

サイクルツーリズムについて



正野 卓矢
チャレンジ奄美
(産業建設委員会)

問 取組・連携（県・5市町村）について

答 環境に配慮し、地域資源を生かした持続可能な観光振興や2次交通の課題軽減につなげたい。奄美大島を周遊しながら体験メニューや歴史・文化等をひとつなぎの観光コースとすることで宿泊日数を伸ばすことが期待されることから県及び5市町村と連携して取り組んでいきたい。

問 船便欠航による品薄状態の解決方法について

答 市民生活安定のための重要な課題であり、対策として、災害備蓄倉庫として金久中学校の旧給食室の貸し出しを開始している。冷凍冷蔵機能を有する生鮮等備蓄倉庫につきましては引き続き研究していきたい。

問 タクシーの現況

答 奄美市として「コロナ禍

おがみ山公園の観光資源としての位置づけは



橋口 耕太郎
公明党
(文教厚生委員会)

問 観光資源として駐車場や遊歩道の整備はできないか

答 本市としては観光資源のひとつとして考えホームページの観光ガイドマップ掲載や民間ガイドによる案内などその活用を図っている。駐車場は地形上困難だと思える。遊歩道はこれまで部分的な補修を行ってきたが、特に名瀬久里町側の園路は路面の状態が悪く、今後レンタカーの誤進入を防ぐ対策を行い修繕可能な箇所は引き続き対応する。



問 带状疱疹ワクチン接種への助成について

おがみ山公園の観光資源としての位置づけは

答 昨年8月に行われた国の専門家委員会定期接種化の検討が行われ、ワクチンの効用については認められるが、対象者数や期待される効果が検証中となっている。導入については、国や他市町村の状況を参考にしながら検討したい。

問 公営住宅へ来客用駐車場の整備できないか

答 駐車場は市営住宅の入居者又は同居者が自ら使用することが要件。各団地において駐車場管理協議会を組織し運営している。各団地の協議会へ要望を伝え、来客用駐車スペースが確保できないか検討を依頼する。

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金を活用し小中学校給食費の免除はできないか

答 昨年度、3学期の給食費を無償化し約4500万円支援した。価格高騰の影響を受けた方々へ支援の在り方を全庁的に検討・精査している。

本市で稼働するタクシー台数

年度	登録台数
H29	191台
R5 (5月末現在)	113台

問 「各種スポーツ競技大会出場補助金」について
島外で頑張っている高校生にも適用できないか

答 島外へ進学した本市出身の生徒数は179名。本制度は、離島からの大会出場に際し、経済的負担軽減を図るためのものであるため、交付対象者については、交付要綱に「市内にある学校の部活動に所属する児童生徒のうち本市に住民登録のある者」としている。

公共交通機関の現状及び少子化や子育てに対する取り組みについて



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生委員会)

問 タクシー不足及びバス運転手不足による社会へ与える影響について

答 タクシー、バスともに市民生活に欠かすことのできない地域の移動手段である。今後も公共交通機関を取り巻く現状について、その動向を注視し、関係団体との連携を密にしながら、地域ニーズに対応した地域公共交通体系の構築を図って参りたい。

問 路線バス及びバス停の現状について

答 バス路線の見直しについては、地域実情や住民の意向も踏まえ、将来にわたる持続可能な運行体制も考慮しながら、引き続きバス事業者と協議して参りたい。バス停へのベンチや屋根の設置については、病院やスーパーの最寄りのバス停を中心に利用頻度を含めて調査を

行い、バスを利用する市民サービスのため、公共スペースがある場所についてはスペース内にベンチ等が設置できないか検討しているところである。

問 出産祝い金制度における第1子への祝い金及び第2子以降の出産祝い金の増額について

答 国の施策や子育てに関する各事業の状況を踏まえ、どのような支援の在り方がよいのか、今後検討して参りたい。

問 子ども医療費助成制度の病院窓口における窓口負担について

答 本制度は、県と市町村ごとに助成額や対象年齢が異なっているものの、県と市町村で実施している制度であることから、給付方式については、所得や世帯の課税状況に関わらず、受給者にとって利便性の高い現金給付方式とするよう、県市長会を通して制度の拡充の要望を行っているところである。

新たな財源確保など観光振興について



永田 清裕
自民党新国会
(産業建設委員会)

問 奄美・沖縄との連携

答 奄美市議会から提出された奄振提言書においても示されているが、沖縄との連携強化は最も実現が求められている課題のひとつである。奄美群島成長戦略ビジョン2033では沖縄との連携や調和ある発展を図るよう法令文言改正の必要性や、条件不利性改善のための離島割引の沖縄向け路線への拡充等を求めている。

問 クルーズ船寄港における受入体制について

答 入港時に大型テナントを設置し、観光案内所と物販ブースを開設しているが雨風が強い場合にテナントが設置出来ず苦慮している。観光船バス管理者の県や観光関係者とバックヤード整備に向けて情報交換を行っていく。商店街との連携については、商工関係団体も含め

た協議会を随時開催し、連携強化に努めている。

問 タクシー・バス二次交通体制について

答 タクシー台数減少により、市民生活への影響はもとより観光ニーズに影響が出ていると認識している。バスについても厳しい運行状況にあり、本市としても補助金増額等の対応をしている。両業界ともに運転手確保が喫緊の課題となっており、解消につながる支援に取り組んでいく。

問 新たな財源確保について

答 今年度、財源確保に向けて検討委員会を設置。官民の委員で構成し、奄美大島が有する世界自然遺産の価値を維持するため地元自治体に求められる行政需要に恒久的に対応できる財源確保を幅広く議論・検討する。

【その他の質問事項】
◎公共施設（伊津部小学校附属幼稚園跡地と名瀬公民館伊津部分館）の整備と利活用

肥料価格高騰対策支援事業について



奥 輝人
無所属
(産業建設委員会)

問 国の肥料価格高騰対策支援事業の価格上昇率について

答 価格上昇率は、農林水産省が実施している「農業物価統計調査」を基に国が定めた統一された基準で14となっている。奄美大島地区の肥料については、国が定めた上昇率よりも価格が上昇していると認識している。そのため本市も国・県の措置に加えて、さらに上乗せして支援を行っている。

問 令和5年度の秋肥料・春肥料への支援について

答 肥料価格高騰対策支援事業は令和5年5月購入分の肥料までが対象となっており、今年度の支援については国・県からまだ情報を頂いていない。今後、国・県の動向を注視して、必要な措置があれば速やかに対応していく。

問 さとうきびの収穫面積拡大や人材確保について

答 令和7年産を目標として策定更新された鹿児島県さとうきび増産計画に本市は収穫面積600ヘクタール、生産量3万2900トンと計画しており、農家の経営安定のため国庫補助の活用や耕耘作業に係る経費を一部助成している。また規模拡大希望農家へは国庫事業等を活用した機械導入や農地中間管理事業を活用した農地幹旋など、早急に規模拡大できるように協力体制を整えている。

問 笠利地区（宇宿集落から万屋集落間と喜瀬・浦地区間）の県道・国道の整備計画について

答 県によると、同地区の抜本的な改良については多額の事業費を要する課題があるため、まずは国道58号おがみ山バイパスなど、事業中の箇所の早期整備に努めていくとのこと。



10月からの下水道料金の値上げは中止を



崎田 信正
日本共産党
(文教厚生委員会)

問 自衛隊への名簿提出について

答 情報提供は、本年4月に18歳と22歳を迎える男女の住所・氏名・生年月日について行っている。名簿提供の周知は現在行っていないが、今後は広報紙等で周知を行い、本人から提供停止の申し入れがあった際には、その対応を検討したい。

問 10月からの下水道料金の値上げは中止を

答 物価高が続いており市民生活に影響が出ていると認識しているが、下水道事業の持続可能な経営を目指す上で現在の料金体系では、将来世代に大きな負担を強いことになる。受益者の皆さまには厳しい負担となるが、ご理解をいただきたい。

問 非核平和宣言都市のモニメントについて

答 新たな周知看板製作

の費用を予算化し、早期設置に向け取り組んでいる。

問 「憲法26条」「学校教育法19条」の立場で就学援助制度の完全実施を

答 未支給となっている「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」「卒業アルバム代」の4項目は恒久的な財源を必要とするため、今後も経済情勢や国、他市の動向を注視しながら検討を重ねたい。

問 他自治体で急速に広がる学校給食費無償化の奄美市での実現について

答 県下では南九州市、南さつま市、西之表市の3市、郡内でも宇検村、喜界町、伊仙町、天城町、大和村の5町村が完全無償化を実施している。給食費予算は恒久的な財源を伴うため、将来の財政計画も見据え、慎重に判断すべきだと思う。

『商工業の振興』について



林山 克巳
無所属
(文教厚生委員会)

問 特定地域づくり事業協同組合（設立・運営及び資金運営金融機関・報酬等）について

答 市内民間事業所の人材不足の解消を目指すものであり、官民連携してさまざまなイベント（あまみJOBフェア等）を通して人材確保の支援に努めている。国・市それぞれから運営費などの支援があるが、役員報酬などは創立総会において支給しないとの決定がなされている。

問 体験型NFT実証実験（経緯・暗号資産・構想）について

答 日本航空・博報堂との黒糖焼酎蔵元コラボであり、世界自然遺産登録となった地域としての特色や希少性の高い特産品などの魅力に溢れていると評価され実施しているもので、使用されたNFT

はデジタル技術で発行する唯一無二の証明書であり、国内外へ向けての観光体験メニューを提供でき、地域への来訪機会を創出できる関係人口の拡大、特産品の販路拡大にも繋がる試みであると認識している。

問 教育行政（部活動におけるモデル事業・発達障害の子どもへの指導・保育園児童と幼稚園児童の現状）について

答 部活動モデル事業は、今年度から令和7年度までの改革推進期間に「部活動の休日における地域移行」を目指しており、保護者に対するアンケート等は実施していないが、中学校の教職員のアンケートにおいては、概ね賛成という回答を得ている。教育的支援を必要とする児童生徒においては、2幼稚園・15小中学校に34人の特別支援教育支援員を配置して、寄り添った個別指導や支援を充実させることに力をいれている。

観光行政・市民生活について



栄 ヤスエ
公明党
(総務企画委員会)

問 ユニバーサルツーリズムについて

答 奄美群島ユニバーサルツーリズム推進事業に参加し、「おもてなし研修会」を通して、講義や実体験を通じて、誰もが気兼ねなく旅行ができるような仕組みづくり、環境整備のあり方などについてノウハウの習得に努めた。

問 観光施設における心のバリアフリー認定制度について

答 市のHP・SNSや関係団体、事業者等へのメール送信により、周知・広報に努め、ユニバーサルツーリズムの受入体制構築に取り組む。

問 公共施設の男性用サニタリーボックスの設置について

答 現状では住用支所や三太郎の里など9か所に設置されている。市役所庁舎や利用頻度の高い公共

施設において設置を検討する。

問 ヒアリングフレイル（耳の聞き取る機能の衰え）について

答 難聴が生活の質や認知機能の低下に影響を与える一因であると考えられることから、本市としても生活の質の維持や介護予防のためにヒアリングフレイルに関する対策は必要である。

問 本市の耳鼻咽喉科の医療体制について

答 大島郡医師会と課題を共有し体制を共に考える。

問 災害時におけるペットと人の同室避難について

答 避難所の確保が大きな課題で同室避難のためのルール作りも必要である。今後課題解決のための訓練実施へ支援も行う。

登録数（令和4年度末時点）

地区	飼い犬	飼い猫
名瀬	1,099 頭	1,718 匹
住用	67 頭	78 匹
笠利	292 頭	290 匹
合計	1,458 頭	2,086 匹

第2回定例会 常任委員会 審査概要

6月27日 文教厚生委員会
6月28日 産業建設委員会
6月29日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第3号)

問 生活保護ケースワーカーの充足について
答 国が示す標準数(ケースワーカー一人当たりの受け持ち件数)は80ケースとされており、本市では、概ね配置数で収まっている。

問 ネーミングライツ料の使途について
答 当該施設の維持改修等の費用に充てている。

問 新型コロナウイルス緊急対策事業における非課税世帯への3万円給付の財源について
答 対象者へ速やかに支給できるよう、国からの交付を待たずに本市財政調整基金から二時的に支出し、国からの交付を受けた後、予算を組み替える。

問 幼稚園送迎バス園児置き去り防止安全装置について
答 国のガイドラインに適合した安全装置一台当たり17万5千円上限の補助を受け、エンジン停止後に車内確認を促す警報音が鳴る降車時確認式の安全装置を設置する。

令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)

問 修繕料の増額(62万4千円)について
答 平成26年に導入した笠立診療所の全身用エックス線CT診断装置において、スイッチの不具合があり修繕を行うもの。

産業建設委員会

オンライン窓口サービス構築業務関連経費
720万円

【当局の説明】スマートフォンや御家庭のパソコンからオンラインで面談や相談を可能とするシステムを構築する。まずは、生活困窮世帯や出産・子育て世帯の各種相談において、オンライン相談窓口を設けていく。

問 オンライン窓口を設ける相談業務を絞った理由は
答 令和4年度に実施したオンライン窓口の実証実験において、自分の都合に合わせた時間に相談できるとか、プライバシー空間で話せて安心感があるなどといったメリットが挙げられたことを踏まえ、まずは、市役所に来て相談することに移動の負担や心理的負担が大きいと想定される分野について取り組むこととしている。

奄美大島周遊観光受入環境構築業務委託
616万円

【当局の説明】地域資源を活用した持続可能な観光受入体制を構築するため、自転車等で奄美大島を周遊し、豊かで多様な自然を体感しながら、地域の歴史・文化、島の人たちの交流を楽しむ旅のスタイルを構築する。5市町村合同で事業を進める。

問 委託先はどこを予定しているか
答 観光地域づくりに関してノウハウがあり、今回のような委託事業の経験がある「一般社団法人あまみ大島観光物産連盟」に随意契約で委託する予定。

総務企画委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算
(第3号)

問 財政調整基金繰入による事業の内容は
答 住民税非課税世帯への生活支援のため給付を行うもの。一刻も早く事業が実施できるよう、国の交付決定を待たずに、本基金を財源として予算を計上した。

問 再編関連訓練移転等交付金は安定的財源となり得るか
答 日米共同統合演習時のオスプレイ飛来による交付金であり、次年度以降の計画が示されない中では収入の想定ができない。

問 特別旅費について
答 鹿児島県市長会での協議により台湾政府観光局や鹿児島銀行台北支店、現地のスーパなどを訪問することになった。畜産品や焼酎等の特産品のPR、観光周遊ルートのPRなどを行う。

問 解体工事(行政代執行)について
答 今回、空き家の管理義務を負う者が存在せず、近隣住民の生命、財産に被害が及ぶ危険性があるため、略式代執行を行うもの。

平松町自治会集会场建設についての陳情
▼採択すべきもの

【議員からの主な意見】

○1400名中の803名の署名は重い。
○平松町だけではなく下方地区全体の問題と
思われ、前向きな検討が必要。
○1400名の人口規模や防災拠点の面から、
建設に向けて前向きな取り組みをお願いしたい。

第2回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	令和4年度奄美市一般会計予算繰越明許費繰越計算書		
	令和4年度奄美市水道事業会計予算繰越計算書		
	令和4年度奄美市下水道事業会計予算繰越計算書		
	令和4年度奄美市債権管理条例第17条第1項に伴う債権放棄報告書		
報告 第1号	専決処分の報告について (専決第2号 奄美市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	本会議
報告 第2号	専決処分の報告について (専決第3号 奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	本会議
報告 第3号	専決処分の報告について (専決第4号 令和5年度奄美市一般会計補正予算(第1号)について)	承認	本会議
報告 第4号	専決処分の報告について (専決第5号 令和5年度奄美市一般会計補正予算(第2号)について)	承認	本会議
報告 第5号	専決処分の報告について (専決第6号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)	承認	本会議
報告 第6号	専決処分の報告について (専決第7号 奄美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	本会議
議案 第35号	令和5年度奄美市一般会計補正予算(第3号)について	原案 可決	全委員会
議案 第36号	令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案 可決	文教厚生
議案 第37号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案 可決	総務企画
議案 第38号	奄美市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案 可決	総務企画
議案 第39号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案 可決	本会議
議案 第40号	固定資産評価員の選任について	同意	本会議
議案 第41号	令和5年度奄美市一般会計補正予算(第4号)について	原案 可決	本会議

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
発議 第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書の提出について	原案 可決	本会議
発議 第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案 可決	本会議

請願・陳情の状況

受理 番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願 第1号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について	鹿児島県教職員組合奄美地区支部奄美地区協議会 議長 池之上 信秋	採択	文教厚生
請願 第2号	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について	鹿児島県教職員組合奄美地区支部奄美地区協議会 議長 池之上 信秋	不採択	文教厚生
陳情 第1号	平松町自治会集会場建設についての陳情	平松町自治会 会長 日置 洋和	採択	総務企画

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）															【○賛成数】	【●反対数】				
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤス工	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	関誠之	崎田信正	与勝広	西公郎			奥輝人	伊東隆吉	川口幸義	多田義一
請願第2号 義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2024 年度政府予算に係る意見書採択の請願について	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	-	●	○	○	○	6	12

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

令和4年度 政務活動費報告

(令和4年4月～令和5年3月)

議員1人当たり月額22,500円×12ヶ月間の計270,000円を交付し、全体交付申請額594万円のうち429万円（72%）を活用しました。

項 目	〈 支 出 額 の 使 途 〉							支出額の 合計	市への 返還金
	調 査 研究費	研修費	広報費	会議費	資 料 作成費	資 料 購入費	事務所費		
幸多 拓磨			60,000		144,748	33,804		238,552	31,448
弓削 洋平			110,391		20,755	22,644		153,790	116,210
永田 清裕	240,600				17,474	16,821		274,895	0
和田 霜析	132,486			76,400	10,890	1,887		221,663	48,337
松山 さおり		34,460	126,350		9,565	8,370		178,745	91,255
林山 克巳	14,523				149,688	48,000		212,211	57,789
正野 卓矢			217,683			3,774		221,457	48,543
橋口 耕太郎	22,700				32,560			55,260	214,740
栄 ヤスエ					85,510	42,972		128,482	141,518
大迫 勝史					90,478	8,250		98,728	171,272
奥 晃郎	118,986		96,000		17,476			232,462	37,538
竹山 耕平	210,949					68,806		279,755	0
元野 景一						8,370		8,370	261,630
関 誠之		67,500	151,200		88,534	52,670		359,904	0
日本共産党						60,090	324,550	384,640	155,360
与 勝広					100,235	38,500		138,735	131,265
西 公郎	338,960							338,960	0
奥 輝人	120,122				6,471	8,400		134,993	135,007
伊東 隆吉	261,750				9,543	53,160		324,453	0
川口 幸義	177,610				49,077	53,180		279,867	0
多田 義一	315,943							315,943	0
総 計	1,954,629	101,960	761,624	76,400	833,004	529,698	324,550	4,581,865	1,641,912
構 成 比	42.7%	2.2%	16.6%	1.7%	18.2%	11.6%	7.1%	100.0%	

・政務活動費は、年度初めに1年分を会派又は議員に交付し、年度終わりに年間の収支報告書などを議長に提出します。支出額が上限に達しない場合、残額は市へ返納されます。

・領収書や収支報告書などの詳細は閲覧可能です。資料の閲覧を希望される方は、議会事務局までお越しください。

常任委員会の所管事務調査を実施しました！

市議会には3つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に審議しています。各委員会では全国の先進事例を参考にするため、1年に1回、現地を訪問し調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り許可しております。5、7月に調査を行いましたので報告いたします。

文教厚生委員会 (5/15～5/18)

◎調査場所と調査事項

【高尾山学園（東京都八王子市）】

●学園の概要、取り組みについて

【花巻市役所（岩手県花巻市）】

●保育士応援事業の概要、取り組みについて



産業建設委員会 (5/22～5/25)

◎調査場所と調査事項

【余市町役場（北海道余市郡余市町）】

●余市・仁木ワインツーリズムプロジェクトについて

【倶知安町役場（北海道虻田郡倶知安町）】

●宿泊税について



総務企画委員会 (7/18 ~ 7/21)

◎調査場所と調査事項

【いわき市役所（福島県いわき市）】

- 復興まちづくりについて
- 個別避難計画に関する取組について



【取手市役所（茨城県取手市）】

- タブレット端末の導入・活用状況・課題等について
- オンラインを活用した議会運営について



永年在職議員表彰

本年6月に開催された第99回全国市議会議長会定期総会において、関誠之議員と竹山耕平議員が15年永年在職議員表彰を受け、第2回定例会の最終本会議終了後に表彰状の伝達式を行いました。



議会の動き

【5月】

- 1日 議会だより編集委員会
- 9日 議会運営委員会、会派代表者会
- 11日 奄美群島市町村議会議員大会
(～12日)
- 14日 笠利生涯学習講座開講式
- 15日 県市議会議長会定期総会
(～16日)
- 文教厚生委員会視察(～18日)
- 22日 産業建設委員会視察(～25日)
- 23日 奄美群島広域事務組合臨時議会
- 26日 かごしま国体奄美市実行委員会
総会
- 28日 名瀬・住用地区生涯学習講座開
講式

【6月】

- 1日 全員協議会
- 8日 九州市議会議長会定期総会
- 9日 議会運営委員会
- 14日 全国市議会議長会定期総会
- 19日 第2回定例会開会
- 20日 一般質問(～22日)
- 22日 全員協議会
- 26日 本会議
- 27日 文教厚生委員会
- 28日 産業建設委員会
- 29日 総務企画委員会
開発公社評議員会
- 30日 大島支庁との意見交換会

【7月】

- 5日 かごしま国体100日前PRイ
ベント
- 7日 全国ハンセン病療養所所在市町
連絡協議会総会
議会運営委員会
- 10日 最終本会議、全員協議会、
会派代表者会
- 18日 総務企画委員会視察(～21日)
- 24日 奄美・やんばる広域圏交流推進
協議会総会
- 22日 奄美群島さとうきび価格対策協
議会総会
- 27日 公立高等学校生徒募集定員策定
等に係る地区説明会
- 28日 奄美群島市町村長会等中央要望

市議会だより

編集委員会

- 【委員長】 和田 霜析
- 【副委員長】 林山 克巳
- 【委員】 幸多 拓磨
- 関 誠之
- 崎田 信正
- 与 勝広
- 永田 清裕

第3回定例会の予定

令和5年9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	開会	一般質問				
10	11	12	13	14	15	16
	本会議	常任委員会				
17	18	19	20	21	22	23
			本会議	決算委員会		
24	25	26	27	28	29	30
	決算委員会					

令和5年10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
				最終 本会議		
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。

議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

「傍聴」

事前連絡は不要です。
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

編集あとがき

夏の風物詩は数々あるが華やかさでは花火大会に勝るものはないだろう。ここ数年はコロナ禍の影響で開催が延期された所もあったが、今年は盛大な花火が観賞できそうだ。

日本の花火の起源は徳川家康にあるという。領地の三河では、鉄砲や大砲に使われる火薬が多く製造された。火薬の威力に早くから注目した家康は、戦(いくさ)でその力を存分に活用した。しかし、全(く)国が平定されると、火薬は逆に世を乱す脅威となる。そこで、家康は火薬づくりを規制し、三河にだけ製造・貯蔵を許した。それが三河手筒花火となり、打ち上げ花火へとつながっていったという。

ロシアによるウクライナ侵略、そして核の脅威がテーマとなったG7広島サミットに向け、核兵器の使用に歯止めをかける「核兵器の先制不使用」を提言した宗教家がいた。その行きつく願いは核兵器廃絶にある。近年、核兵器の数は再び増加する傾向にある。各国の相互理解と努力によって世界に平和が訪れ、それが保たれるならば、太平の世に鉄砲などの大量殺りく兵器が姿を消していったように核兵器もその役割を終えていくだろう。核兵器が廃絶される日が来ることを信じていたい。

【与 勝広】